



○今年のなごみ祭は？

四月二十三日（土）、昨年オープンした「松枝みなみ会館」で「東北関東大震災支援バザー」が行われた。これは、会館オープンと同時に結成された「なごみの会」による企画。毎月、周辺の草

取りや館内の掃除、写経や草履づくりなどの活動を通じて交流を広めてきた。今年の春は、華やかに「なごみ祭」を開催する予定だった。しかし、東日本大震災で被災された

方々の惨状を目にして支援する会に変更。早速、バザー用品集めに奔走した。○地域の人々が集まる場！

会館前のテントでは、みたらし団子、うどん、フランクフルト、特製五目ごはん、焼きそば、野菜を販売企画。今

回は、おかみさん会員に岐阜女子大学の学生さん四名も加わり、みたらし団子と一〇〇円バザーのコーナーで活躍し、新風を吹きこむ。売上金は支援に。

雨天だが、会館には多くの人が集まり、交流の輪が自然に広がっていった。

○地域の絆づくり！

館内では、まず子どもたち向けの「アンパンマン」など紙芝居を上演。子ども



さらに、地元笠松民謡同好会による唄声。東

日本ガンバレと三味線と尺八の生伴奏に合わせ、ソーラン節に始まり民謡の唄声が響く。会場の人々も手拍子をと

○温かい心で支援！

上演の合間ごとに、バザーが行われた。売り上げはすべて義援金に。東日本大震災で避難されている方々は、今なお十二万人にのぼる。少しでも力になりたい。温かい心でサポートしたい。一人ひとりのできることは小さくとも、みんなが力を出し合えばささえることができる。この会を企画運営する「なごみの会」の熱い思いが伝わってくる。



「松枝みなみ会館」100円バザーコーナーで活躍する岐阜女子大学の学生さん